

※ この書式は今後も使用することになります。必ずコピーして使用してください。

■成年被後見人 □被保佐人 □被補助人（本人）【 上鴨 京一 】

財 産 目 録 A  
(令和 元 年 8 月末日現在)

記載例

下記1の預貯金・現金については、今回報告基準日以降に通帳記帳したうえで、令和 元 年 8 月末日時点における本人の財産内容につき以下のとおり報告します

令和 元 年 9 月 17 日

成年被後見人等 上鴨花子

1を除く各項目は、必ずどちらか一方の □ にレ点 (又は■) を入れてください。  
財産の内容 (財産目録Bに記載の事項) に少しでも変化があった場合は、右の □ にレ点 (又は■) を入れてください。  
この場合は、前回までに報告したのものも含め、改めて現在の財産の内容を別紙に記載してください。

1 預貯金・現金 ※ 前回報告から今回報告基準日までの通帳写しを添付してください。

	金融機関	支店名	口座種別	口座番号	前回基準日 (H・R 30. 8 月末) 時点の残高(円)	今回基準日 (R 1. 8 月末)時点 の残高(円)	管理者	資料 番号
1	**銀行	**	普・定	*****	2,322,300	8,283,200	後見人	1
2	**銀行	**	普・定	*****	200,000	200,000	後見人	1
3	**信用金庫	**	普・定	*****	500,000	500,000	後見人	2
4			普・定					
5			普・定					
6			普・定					
	現			金	50,000	30,000		
	合			計 額	3,072,300	9,013,200		

※書ききれない場合は別紙を作成の上、この目録に添付してください。

【以下の財産のうち、前回以降に変化のあったものについては、

前回の報告以降、変わったものがなければ、財産目録Bは提出不要です。現状が分かる資料を添付してください。】

2

□ 前回報告から変わりありません。 ■ 本人の財産の内容は財産目録Bのとおりです。

3 株式・有価証券・投資信託等 ※単に評価額が変動しただけの場合は、前回報告から変化なしと扱います。

□ 前回報告から変わりありません。 ■ 本人の財産の内容は財産目録Bのとおりです。

4 保険契約 (本人が契約者又は受取人になっているもの)

□ 前回報告から変わりありません。 ■ 本人の財産の内容は財産目録Bのとおりです。

5 債権 (貸付金など)

■ 前回報告から変わりありません。 □ 本人の財産の内容は財産目録Bのとおりです。

6 債務 (未払税金, 借入金, ローンなど)

□ 前回報告から変わりありません。 ■ 本人の財産の内容は財産目録Bのとおりです。